

# 台湾火災の 死者3人に

## AMDA近く支援

【台北共同】台湾・新北市の遊園地でのイベント中にカラーパウダーに引火し、約500人がやけどをした火災で、入院していた台湾人男性(20)が発生から10日目の6日、死亡した。衛生当局が発表した。火災による死者は3人目。

重傷の日本人女性2人のうちの1人が6日までに、日本で治療を受けるため帰

国した。関係者が明らかにした。

一方、負傷者に移植する皮膚が不足し、台湾政府は海外からの調達に着手。台湾側の要請を受けて日本赤十字が6日、人工皮膚(約21万平方センチ)を贈呈したほか、日本医師会と国際医療援助団体「AMDA」(岡山市北区伊福町)も近く支援を始める見通し。台湾の規制により、実際の医療行為には従事できない。